

「第2回平成26年台風11号を踏まえた今後の出水対応を検討する会」の
開催結果について

1 開催日時

平成26年12月1日（月） 県庁で開催

2 第2回会議の概要

（1）知事から検討会への要請

台風11号で被災された地元の皆様の強い声を代弁する形で、

- ・長安口ダムの洪水調節等の操作状況
- ・ダム改造事業の目的と効果
- ・ダム放流量と下流域の浸水状況との関係を整理したタイムライン

について、「住民の皆様に分かりやすい形で示して頂きたい」と要請。

（2）阿南市、那賀町における洪水時の対応と課題

台風11号来襲時における危機管理対応についての報告がなされ、
その際には、ダムからの情報を総合的に整理・分析し、判断する体制が
必要であるとの危機管理上の課題が提示された。

（3）第1回会議の意見に対する国の説明

- ・過去最大の流量となった要因
- ・河川水位や長安口ダム操作の状況
- ・ダムの流入量予測の変遷と実績との比較分析

などについて説明が行われた。

（4）委員からの主な意見

- ① 長安口ダムの操作については、今回の技術的な整理を踏まえ、
県民に分かりやすく伝えることが必要
- ② 長安口ダムの改造と河川整備の進捗に応じた出水対応の検討が必要
- ③ 今回同様の降雨に対する情報発信・伝達のあり方について
検討が必要

等の意見があった。

3 今後のスケジュール

平成26年12月24日：第3回会議開催予定